

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成元年		根拠法令・規程等	八塔寺国際交流ヴィラ設置条例
総合計画	大項目	基本目標	05	住民主体の協働のまちづくり		問 合 先	まちづくり推進課 協働推進係長 竹林 幸作 0869-64-1806
	中項目	基本施策	02	ふれあい豊かなまちづくり			
	小項目	施策	01	地域間・国際交流			
事務事業名		02	国際交流ヴィラ管理事業		このシート作成に要した時間 4.0 時間		

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	外国人利用者及び外国人と交流する日本人
目的 (何のために)	外国人等に日本の文化に直接ふれる機会を提供することで、日本の良さ、備前市の良さを肌で感じてもらい、国際相互理解を推進する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	国内外の人々に備前市の魅力を伝え、国内外の人々と市民との交流促進する。

事業の実績		事業の説明	優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	国際交流ヴィラ管理運営事業	吉永・八塔寺ふるさと村に設置されている国際交流ヴィラの管理運営。 4部屋、13人収容
		国際交流ヴィラ運営協議会負担金	県内ヴィラ所在自治体による運営協議会への負担金。 平成22年3月31日解散

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	3,171	3,241	3,121
	必要人員人件費	千円	0.07人 524	0.13人 825	0.11人 870
	事業費計		3,695	4,066	3,991
財源	国県支出金	千円	449	482	
	受益者負担		2,366	2,595	3,587
	繰入金				
	その他()				
	一般財源		880	989	404
	受益者負担比率	%	64.0%	63.8%	89.9%
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	ヴィラ利用者数	説明	国際交流ヴィラの利用者数。		
	結果指標量	事業	851	982	1,028
	対前年比	%	-	115.4%	104.7%
	活動コスト	円	3,695,000	4,066,000	3,991,000
	単位当たりコスト		4,342	4,141	3,882

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
成果指標名	成果指標	目標値(A)	850	850	850	1,000
		実績値(B)	851	851	1,028	到達目標値
		達成率(B/A)	100.12%	100.12%	120.94%	1,000
成果指標設定の考え方・式や説明						
ヴィラ利用者数の増加により収益増加を図る。						

事務事業の評価		妥当性の評価	効率性の評価	有効性の評価
市との関与の妥当性の評価	市が実施するよう法令で義務づけられている	C	C	B
	法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす			
市民ニーズ	現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない			
	事業の内容が一部の受益者に偏っている			
コスト	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている			
	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である			
目的達成度	事業開始当初の目的から変化してきている			
	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている			
市民参画度	厳しい財政状況であるが、実施する必要がある			
	市民・団体等から要望・要請が強い			
	単位当たりコストは前年度と比較して改善している			
	実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある			
	事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある			
	コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい			
	受益者負担率は適正である			
	受益者負担率を見直す余地がある			
	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない			
	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
	最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている			
	成果指標の設定は適切である			
	成果指標の到達目標値は達成できそうである			
	成果指標達成率は前年度と比較して向上している			
	成果指標達成率は80%未満となっている			
	現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない			
	法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい			
	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している			
	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			

留意事項の目的がその数値目標であること下指し指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況								
説明	平成21年度からは市の施設として市単独の運営となったことから採算性を改善するため利用料金を見直し、引き続き利用者数の確保により経営の安定を図る。							

総合評価		評価区分	妥当性	効率性
海外での評価が非常に高く、地域での国際交流や備前市の魅力を伝えるうえで重要な施設であると同時に吉永地区における貴重な観光資源である。		C	A	B

平成23年度の方向性及び取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性								
取組目標	市の施設としてのヴィラ運営と移行したことから、今後の施設整備については全て本市の負担となる。このため、宿泊者数の増加による経営改善をすすめるとともに、施設の老朽化に伴う整備方針についても近隣の類似施設も含めて総合的に検討している。							